第２回登米圏域宿泊事業者部会
【日時】令和８年１０月１日（木）午前１０時から正午まで
【場所】登米合同庁舎　２０３会議室

【委員からの主な意見】

１．宿泊税を活用した今後の観光振興施策について

（A 委員）

○　今年度仙台～登米町間のバスが３便に減ってしまった。マイクロバスで良いので、仙台～登米間でバス運行がほしい。バス会社への補助についても検討しても良いのでは。

（B 委員）

○　当施設含め登米市内では、夜飲みに行った宿泊客が帰りにタクシーや代行を呼べず、飲食店の人に厚意で送ってもらったという話をよく聞く。現状、飲食店への負担が大きくなってしまっているので、少しでもお店の人がお金を受け取れる仕組みがあると良い。

（C 委員）

○　タクシー会社等にも相談し、ライドシェアについて話を前に進めてほしい。ホテル従業員がライドシェア運転手をできるのであれば、タクシーのいない早朝に料金をもらって送迎するという手もある。宿泊客としてはタクシーがないのがとても不便。

○　B 委員の話にあったように、飲食店が送迎というのはよくある。そういった点でもライドシェアについて話が進むと、料金もとれるし保険等の整備もできるのでは。

（D 委員）

○　タクシーや代行がどんどん減っていく中で、小さい規模での移動手段が求められているし、課題だと思う。補助があると市の周遊バスという手段もあるかと思うが、なくなったときのことを考えると他の方法も考えていく必要がある。実費相当は受け取って良いとなっているが、どこまでを含めていいものかわかりにくい。

（E 委員）

○　顧客満足度を上げないとリピートに繋がらない。交通手段を増やさないと客足の底上げが図れない。何年も話が進まない部分なので、ライドシェアに限らず良い仕組みづくりを少しでも前に進めてほしい。登米市では病院へのバス対策はしているが、観光も同じように対策（特に小回りが利くもの）を進めてほしい。

（F 委員）

○　減便を決める際の考え方はわからないが、仙台～登米と他地域のバスの便を比べると、他地域の同時間帯の使用率が高いから等の理由もあるのかもしれない。減便にならないよう、登米に来る人を増やすために観光を盛り上げていく必要があると思う。

○　交通手段がない観光客がかわいそうで車に無償で乗せてあげたことは多々ある。事故等なにかあったらと思うとこわい。

２．登米地域における令和８年度観光地域づくり事業の進捗及び令和９年度観光地域づくり事業の検討について

（F 委員）

○　パワースポットは人々の関心がとても高いように感じる。森舞台や伊豆沼のマガン飛び立ち等登米地域のいろいろなものをパワースポットとして売り出すのもいいのでは。登米市に絶対来る価値があると感じてもらえることが重要。登米地域は歴史ある神社等もとても多い。

○　学校単位の教育旅行ではなく、親子の農業体験の推進をすると登米市内の受入規模とも合うし、移住にも繋がるかもしれない。

（A 委員）

○　登米町では「登米のお茶会」として仙台のお茶会よりも昔からやっているものもある。

○　農業体験については、お客さんのお世話（お風呂や寝床の準備等）を考えると大きい農家ほど受け入れが難しいところがあり、比較的小規模の農家がグリーンツーリズム協会に入っている場合が多い。農業体験だけを農家で受け入れ、宿泊はホテルでというのもいいのでは、と個人的には思うが、受入れ事務局側の人手不足もあり実現していない。地域経済につなげるためにも、親子をターゲットにするなど。

（E 委員）

○　今年春、知人農家と農業体験を企画し好評であった。自分は農家ではないので可能かはわからないが、学校単位ではなく個人単位で受け入れてくれる農家さんがいれば、一般の方を対象にした農業体験もいいのかもしれない。当施設で企画した際はサッカークラブの方に参加いただいたので、そういった団体をターゲットすると、規模がちょうどいいのではないか。

○　受入れ先・お客様それぞれとの調整をする役割を誰が担うかというところが課題だろう。

（D 委員）

○　農業体験等なんでもできる素質はある地域だと思うが、どこにターゲットを置くか、そこに向けて誰が役割分担していくのかというコーディネートが大事だと思う。コーディネートをする人が現状いないのであれば、育成していくという視点も必要ではないか。

○　パワースポットやお茶会等については、一般のお客さんに向けてプロモーションをかけていけばまだまだ伸びると思う。宿泊施設のことを考えると、これと両輪で団体旅行を誘致してくる必要がある。教育旅行は人数が多すぎるので、大学の合宿等もう少し小規模なところを呼び込むなど、自分たちに合わせたターゲットの整理をしていくことがとても大事だと思う。

○　県や市でターゲットを整理した上で、効果的なエリアを選ぶのがいいと思う。個人的には登米町がいいのではないかと考えているが、誰が主導していけるのか、育成していけるのかという点が悩ましいと思う。

○　最終目標としては宿泊してもらうことだが、日帰りの中でもいかに宿泊施設や飲食店と連携できるかを考えないといけない。海外の方にガストロノミーツーリズムはとても人気なので、農業体験とホテルでの登米市産仙台牛を使ったランチを楽しめる、等。

３．その他

（A 委員）

○　登米市内であるイベントについて、パンフレットや周知の際に市内宿泊施設を掲載する等の工夫が必要。